

令和4年度 事業報告書

藤枝市社会福祉協議会は、『第5次藤枝市地域福祉活動計画（令和4年度から同7年度の4カ年計画）』に沿って、さまざまな地域福祉・在宅福祉活動を展開していきます。



令和4年度は新規事業・重点事業として次の6つに取り組みました。

重点①地域住民主体の地域福祉推進に向けた福祉教育

重点②地区社会福祉協議会の活動の多様化に対応した支援の強化

重点③藤枝市ボランティアセンター事業の強化

重点④在宅福祉センターで行う専門職による個別支援で明らかになった住民の
個別ニーズから、地域づくりの視点・仕組みを擁する地域支援へのつな
ぎの強化

新規①生活困窮者の自立支援に向けた「ふじえだ暮らしをつなぐ支援事業」の
新設

新規②コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置研究

また、令和4年度から8年度まで指定管理者制度により藤枝市から指定を受けた、
藤枝市老人福祉センター「藤美園」、生きがい対応型デイサービスセンター「藤の里」、
藤枝市福祉センター「きすみれ」の運営を適切に行いました。

放課後児童健全育成事業（藤枝市委託事業）では、新たに開所したゆたかっこ第
2児童クラブ、えだっこ児童クラブの運営を安全に行うよう努めました。

地域福祉・在宅福祉活動を展開し、地域住民、藤枝市、市内の保健・福祉・医療
機関や福祉団体と連携し、住民同士で支えあう地域のしくみづくりを進めていき
ました。また、地域の住民の皆さんからの相談に応じていく中で明らかになった地
域課題の解決のため、事例検討を深め、新たな事業を整えていくために法人内の連
携や職員の育成強化を図りました。

基本理念

みんなで「つながり」 地域で「支え合う」まちづくり ～幸せになるまち藤枝～

近年はこれまで以上にライフスタイルの多様化や価値観の変化等、社会構造や情勢が目ま
ぐるしく変化しています。更に、支援が必要な人が増加する一方で、それを支える生産年齢
人口の減少も問題となっています。こういった中で、誰もが様々な生活課題を抱えながらも
住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくよう、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」・
「受け手」という関係を超えて、地域の住民や多様な主体が役割を持ち、支え合いながら活
躍できる「地域共生社会」を実現していく必要があります。

地域福祉においては住民が主体となってまちづくりに参画することが求められています
が、その目的は住民一人ひとりが自分の考える「幸せ」を実現するために必要な環境や機会、
支援体制を充実することにあります。住民同士のつながりや支え合いを通じて一人ひとりが
自分や周りの人々の「幸せ」を考える地域像を目標に、基本理念を以上のように定めます。

基本目標 1 交流とつながりを深める地域づくり

地域における交流やつながりを深めることは、地域における助け合い意識の醸成につながり、地域共生社会を支える重要な要素となります。学校との連携や地域におけるセミナーの開催、地域福祉に関する情報発信を充実することで、地域共生社会に関する意識を醸成するとともに、世代間交流をはじめとする交流機会の提供、地区社協への支援等を通じて、地域におけるふれあいの機会を充実させていきます。

1 地域共生の意識づくり

(1) 住民主体の地域福祉推進に向けた福祉教育

① 大人のための福祉講座

日ごろ、福祉について学ぶ機会が少ない社会人を対象に、今年度はひきこもりの高齢化・長期化をテーマとし、ひきこもり支援として私たちにできること、大切にすべきことを考えることを目的に実施しました。

実施日：令和5年3月4日

会 場：市民ホールおかべ

内 容：【第一部】映画上映「カンパニュラの夢」

【第二部】講演会：「ひきこもりはあなたごと」

講 師：静岡大学 人文社会学科領域 教授 萩野 達史 氏

参加者：89人

② 中高生福祉体験事業（夏スペ☆THE☆ふくし）

中高生が日ごろの授業や部活動では体験できないような活動を通して、福祉に対する理解や関心を深めることを目的に開催しました。

実施日：令和4年8月17日

会 場：藤枝市福祉センター

内 容：①講義：「みんなちがって、みんないい」

講師：子ども発達支援センター

②お菓子作り

③きすみれの里の高齢者との交流

参加者：26人（中学生10人、高校生16人）

③学校における福祉教育の推進

ア. 福祉教育実践校事業

児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、自立と社会連帯の精神を養うとともに、児童・生徒を通じて家庭及び地域社会への啓発を図ることを目的に、継続的に実践校を指定し事業推進に努めました。

【実践校指定校】公立小中学校 27校（市内全校）

高等学校 4校（藤枝北高、藤枝西高、静清高、藤枝東高）計31校

《各実践校の実施状況》

学校名	時期	内容等
瀬戸谷小学校	7月	(1年)七夕飾りづくりでお年寄りと交流 (6年)介護士の講話
稲葉小学校	通年	(1、2年)老人会との交流会(グランドゴルフ・昔の遊び) (3、4年)福祉講演会「年をとるってどういうこと」 (5、6年)友愛訪問・高齢者疑似体験
葉梨小学校	7月～12月	(5年)アイマスク体験・車いす体験(講話) (6年)道徳「発展途上国：学校へ行けない子どもたち」
広幡小学校	6月～12月	(2年)みんなが使う場所のくふうやひみつ (3年)盲導犬ユーザーとの交流 (4年)広幡の防災について (5年)SDGsから学ぶ (6年)高齢者疑似体験学習
西益津小学校	11月30日	(1、2年)地域の方と昔の遊びを通した交流 (3年)田中城について地域の方にお話をいただく (4年)田中城について地域の方とフィールドワーク (5、6年)地域ボランティアの方へ感謝の手紙の作成 (7・8組)地域の方とボッチャを通した交流
藤岡小学校	6月21日、10月25日、 11月11日、11月25 日、12月6日、2月	(5年)ユニバーサルデザイン出前講座、白杖・アイ マスク体験、聴覚障害者の講話、車いす体験、 高齢者疑似体験、福祉で学んだことの発表
藤枝小学校	通年	(4年)福祉について知ろう、バリアフリーについて 考えよう、調べたことをまとめて発表会
藤枝中央小学校	9月～12月	(4年)ふくしについて、高齢者疑似体験、アイマス ク体験、まとめ・発表
青島小学校	通年	(4年)福祉についての講話、福祉体験活動
青島北小学校	7月～2月	(5年)暮らしの中の福祉
青島東小学校	通年	(4年)ふくしへどんなこと?、ユニバーサルデザイ ンって何だろう、体の不自由な方の思いを聴 いてみよう・体験しよう、調べ学習・発表
高洲小学校	通年	(3年)福祉について、視覚障害について、高齢者に ついて、高齢者疑似体験、車いすバスケ、重 度心身障害者との交流、まとめ
高洲南小学校	通年	(4年)車いすバスケ体験、目の不自由な方の講話、高 齢者疑似体験、ユニバーサルデザイン講座
大洲小学校	通年	(4年)車いす体験・講話、静岡県立藤枝特別支援学 校との交流
朝比奈第一小学校	通年	(3年)福祉ってなに?、白杖体験、つながるふくしの 7つの言葉、手話、盲導犬、ユニバーサルデザ イン出張出前講座、心のユニバーサルデザイン、 点字体験、福祉発表会、お年寄りとのふれあい

岡部小学校	7月～2月	(4年)福祉について、高齢者の特徴について、視覚障害について、肢体不自由について、聴覚障害について、調べ学習・発表
瀬戸谷中学校	通年	(全校生徒)地域高齢者との交流、卓球バレー(パラ競技)体験
広幡中学校	1、2学期	(2年)ユニバーサルデザインについて、福祉施設の方の講話、ユニバーサルデザインの視点からの調べ学習・発表
西益津中学校	10月～11月	(2年)視覚障害者体験、車いす体験、高齢者疑似体験
藤枝中学校	通年	(全校生徒)ユニセフ募金活動、赤い羽根募金、人権について考える
青島中学校	通年	(1年)藤枝市を知ろう (2年)SDGs×防災 (3年)SDGsプロジェクト
青島北中学校	6月～11月	(2年)福祉学習・講話、アイマスク体験 (3年)防災学習・講話、防災体験
大洲中学校	通年	(1年)特別支援学校の生徒と交流 (2年)福祉講話と福祉体験 (3年)大洲地区の福祉についての探究・発表
岡部中学校	6月～9月	(1年)福祉とは、聴覚障害について、音訳体験、年をとるということ (2年)高齢者疑似体験
藤枝東高校	通年	(JRC部)児童クラブ訪問、放課後デイサービス支援、募金活動
藤枝北高校	5月～1月	(地域福祉実践選択者)施設訪問・実習

助成金：15校 902,000円

イ. 福祉教育実践校連絡会

福祉教育実践校等の福祉教育担当教員を対象に、福祉教育の意義や必要性について理解を深めるため連絡会を実施しました。

【第1回】実施日：令和4年6月1日

会 場：生涯学習センター

内 容：講話「日常の学校生活のなかにある福祉教育」

講 師：静岡県教育委員会 義務教育課 指導班 教育主幹 中安 恵一 氏

参加者：23人

【第2回】実施日：令和5年2月17日

会 場：葉梨地区交流センター

内 容：①講話：「みんなちがって みんないい」

講師：障害福祉サービス事業所もくせいの家 井川 慶美 氏

②講話：地域に寄り添った福祉活動

講師：藤枝市立稲葉小学校 杉本 久雅子 氏

③情報交換

参加者：33人

④地域講師の活動支援

福祉教育地域講師を対象に、福祉教育の意義や必要性を知り、求められている役割について共有することを目的に連絡会を実施しました。併せて、社協プロジェクト事業の一つである「障害への理解を深めること」に対しての取り組みとして動画を制作するために、地域講師の方々から意見をいただきました。

実施日：令和4年8月4日

会 場：高洲地区交流センター

内 容：①講話：「藤枝市の地域講師の目指すところ」

講師：障害者生活支援センターおのころ島 理事長 井出 一史 氏

②障害者サポートー養成講座説明および動画制作への協力依頼

③意見交換

参加者：14人

⑤高齢者疑似体験インストラクター養成講座

高齢者疑似体験を行うインストラクターを養成することで高齢者に対する理解を促進し、地域で高齢者を支えていくことのできるまちづくりに努めました。

【第1回】実施日：令和4年7月29日

内 容：加齢により起こる心身の変化等を学び、高齢者に対する理解を深める

【第2回】実施日：令和4年8月5日

内 容：高齢者疑似体験インストラクターになるための実践的な講習

会 場：藤枝市福祉センター

修了者：7人

⑥障害者サポートー養成講座

障害があるために生活のしづらさを感じながら生活をしている人が、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民の障害に対する理解を深め、地域で支え合う仕組みづくりを進めていくために実施しました。

【第1回】実施日：令和5年2月23日

内 容：講話「障害者人生 快走50年の決算」

講 師：障害者生活支援センターおのころ島 理事長 井出 一史 氏

【第2回】実施日：令和5年3月2日または3日

内 容：体験学習、交流会

協力施設：もくせいの家、南部すみれの家、ハルモニア、藤枝第一心愛、
　　ポップライフ、おのころ島

【第3回】実施日：令和5年3月16日

内 容：①講話：「同じ地域に住む私たち、ひとりひとりの役割について考える」

　　講師：障害者生活支援センターおのころ島 理事長 井出 一史 氏

②グループワーク（振り返り）

会 場：藤枝市福祉センター、協力施設

参加者：23人

⑦障害に対する理解を深めるための動画作成

藤枝市の障害者福祉の歴史と現状、誰もが暮らしやすい地域づくりに向けて求められていること等を住民に伝えるための動画を作成しました。

《動画タイトル》

「地域で共に生きる～藤枝市に住む人の力で、誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して～」

⑧～心の温暖化計画～ 交流会だよ全員集合！！in 岡部への支援

岡部地区社協と「（福）葉月会もくせいの家」が開催した、利用者と住民との交流会に協力しました。

◇◆◇効果◆◆◇

福祉教育は、差別や偏見をなくし、その人らしさを尊重しながら認め合える地域づくりに不可欠です。今年度は、住民の障害に対する理解を深めるための講座等にも取り組み、子どもから大人まで全ての地域住民が福祉について学ぶことができる機会を作ることに努めました。繰り返し実施していくことで、学びが深まり、日常生活での実践につながる効果が期待できます。

（2）住民参加による生活支援

①生活サポートサービス「キー坊大縁隊」おおえんたい

地域住民が参加し、住民相互で助け合いながら生活をサポートするサービスを提供することで、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを実現していくことを目的にした、会員制の事業を実施しました。

《登録状況》・・・・・ 利用会員 43人／サポーター 47人

（前年度 42人／サポーター 54人）

《主なサービス内容》・・ 利用者宅の日常的な清掃、草取り、ゴミ出し、話し相手 等

月	依頼件数	実施延べ件数	実働延べ時間	利用会員実人数	サポーター活動実人員
4月	26	26	15	10	9
5月	37	37	24	14	10
6月	46	46	31	16	12
7月	40	42	20	13	10
8月	38	38	22	10	9

9月	46	48	26	16	11
10月	48	50	26	16	11
11月	58	58	31	18	14
12月	67	67	37	16	12
1月	45	45	29	15	12
2月	48	48	33	14	12
3月	54	57	33	14	13
計	553件	562件	327時間	172人	135人
前年度	378件	380件	245時間	141人	115人

(3) 地域福祉活動に関する情報発信

①社協だより

社会福祉に関する住民の理解と協力を得るため、「ふじえだ社協だより」No.226～229を発行し、市内全戸に配布し啓発を図りました。

②ホームページの管理、プレスリリース

ホームページやプレスリリース等により情報提供の充実に努めました。また、幅広い世代に情報を届けるため、LINE・Facebookを開設し、情報発信を行いました。災害ボランティアセンター開設時には、毎日ボランティア活動状況をFacebookにて報告しました。

LINE登録者数：122人、Facebook登録者数：237人

③点字・声の広報発行事業

視覚に障害のある人の情報保障や社会参加促進を図るため、ボランティア団体の協力をいただき「ふじえだ社協だより」「広報ふじえだ」「藤枝市議会だより」の声の広報の及び点字広報を作成し配付しました。

ア. 声の広報作成事業

協力団体：サークルふじ

(ふじえだ社協だより4回、市広報24回、市議会だより4回)

発行部数：13部（11部を利用者に送付、2公共施設に1部ずつ送付）

利用者数：11人

イ. 点字広報作成事業

協力団体：ピッコラ、点訳サークルひまわり

(ふじえだ社協だより4回、市広報24回、市議会だより4回)

発行部数：5部（2部を利用者に送付、3公共施設に1部ずつ送付）

利用者数：2人

④藤枝市健康福祉大会

多年にわたり健康福祉の増進に尽力された人への表彰と広く住民に健康・福祉の啓発を行うことを目的に開催しました。新型コロナウイルス感染拡大により、中止や縮小開催が続いていましたが、

今年度は式典にてダンス・合唱の団体発表や青島第8助けあいの会はちすけによる活動発表を行いました。加えて、展示・物品販売ブースにて福祉施設や福祉団体の活動PR・物品販売を行いました。また、地域包括ケア推進課主催の健康づくりや地域の活力向上などに取り組んだ75歳以上を対象に表彰する「元気はつらつシニア大賞」も同時に授与を行いました。

開催日：令和4年9月23日

会場：藤枝市民会館

内容：表彰 大会会長表彰（7人）

社協会長表彰（19人）

社協感謝状（1人、6団体）

参加者：約450人



◇◆◇効果◇◆◇

日頃から地道に福祉活動を行っている方々に敬意を表し、その活動をお互いに認め合うことで継続とやりがいを見出せ、市全体の地域福祉活動の活性化に努めました。さらに、市内の各種団体が集まることで目的とする健康・福祉の啓発に向けて活動ができました。

2 ふれあいを深める地域づくり

（1）ふれあいの場・居場所づくりの推進

①ふれあいサロン

住み慣れた地域で日常的に集まり、楽しいひと時を過ごすことができるよう、また介護予防を目的に、地区社協及び福祉団体や地域のボランティアの協力を得て実施しました。

登録人数：会員1,806人、ボランティア1,038人

内容：各種講話、健康体操、レクリエーション等

実施：76カ所（高齢者73、子育て3）

《高齢者サロン》

実施地区	サロン数	前年度比	対象地域
瀬戸谷	3	1増	市之瀬、中里、滝ノ谷（※新規）
稲葉	3	0	堀之内、谷稻葉、助宗
葉梨	9	0	白藤、第2自治会、上藪田、下藪田、高田、清里、時ヶ谷第1、時ヶ谷第2・4、時ヶ谷第3
広幡	8	0	水守、八幡、鬼島、上当間、下当間、仮宿、潮、横内
西益津	10	0	郡2、長楽寺2、田中3、益津下、平島第1、平島第2（2か所）、平島第3、平島第4、稻川
藤枝	8	0	原、木町、市部、藤岡、五十海、千歳、藤岡4、本町
青島	11	0	田沼南、メゾングランツ藤枝、駿河台、志太、新南新屋、芙蓉台、追分西、青南町、瀬古1・2、瀬古3、青島第4自治会
高洲	8	0	高柳仁平、高柳切島、兵太夫中、兵太夫上1~4、兵太夫上第5、与左衛門（2カ所）、大新島
大洲	4	0	大東町、弥左衛門、泉町、忠兵衛

岡 部	8	1 減	第2自治会（旧第2）、第3自治会、第4自治会、第5自治会（旧第6）、第5自治会（旧第7）、村良、横添、旭ヶ丘、本郷
市全域	1	0	

*助成金：64団体／計3,879,000円

《子育てサロン》

実施地区	サロン数	前年度比	対象地域
青 島	2	0	田沼南、前島
大 洲	0	1 減	
藤 枝	1	0	藤枝地区

*助成金：3団体／計261,000円

②ふれあい会食会

一人暮らし高齢者と一人暮らし高齢者に準ずる人を対象に、およそ月1回、地域の人との交流や高齢者福祉の向上、介護予防を目的として、自治会や民生委員・児童委員、ボランティアの協力により実施しました。

実施地区：瀬戸谷、葉梨、広幡、西益津、藤枝、高洲、大洲（7地区）

登録人数：会員168人、ボランティア65人

内 容：弁当配布、各種講話、健康体操、レクリエーション等

③ふれあいサロン連絡会・ふれあい会食会連絡会

サロンや会食会を運営していくうえで困っていることや良かったこと等を報告し合い、情報交換をする場として連絡会を開催し、ボランティア同士の横のつながりづくりに努めました。

【全5回】令和5年3月2～9日 会場：市内5カ所

内 容：①ふれあいサロン・会食会事業助成金について

②参加者傷害補償・ボランティア活動保険について

③情報交換

参加者：108人

④子育てサロン情報交換会

子育てふれあいサロンを実施しているボランティアを対象に、サロン活動の参考になる講座の実施とサロン同士の情報交換の場として、顔の見える関係づくりに努めました。

実施日：令和5年2月16日

会 場：青島南地区交流センター

内 容：①出前講座『楽しい子育てアラカルト』楽しい！手作りおもちゃの作り方と遊び方

②情報交換

参加者：8人

⑤ふれあいサロン＆ふれあい会食会パワーアップ講座

地区社協を基盤に地域で活動しているふれあいサロン・ふれあい会食会のボランティアの方を対

象に、情報収集、新しい知識や技術の習得など、今後の活動をさらに発展・活性化することを目指して開催しました。

実施日：令和4年11月8日

会 場：生涯学習センター

内 容：講座：「笑生涯」現役を目指すエアリハ脳健生活！～認知症予防はMCIが分岐点～

講 師：おしゃべりテーションの会 代表 日向亭葵 氏

参加者：88人

⑥おいで

年齢や障害の有無に関わらず、いつでも誰でも気軽に立ち寄れ自由に過ごすことができる地域の居場所づくりを促進するため、「おいで」を支援しました。【実施：15カ所】

実施地区	数	おいでの名称
瀬戸谷	1	藤の瀬ほっとルーム
葉 梨	2	開寿園 はなしば、はなしカフェ下藪田
広 幡	2	ほっとな居場所 おんじま、広幡地区のみんなの居場所
西益津	1	西益津いきいきランド
藤 枝	2	おはなし長屋、子どもの本 まり一文庫
青 島	4	くつろぎカフェ かいらハウス、なごみ、田沼支え愛の会しゃべりばアイビー、ほっとな居場所 輪笑
高 洲	2	古民家カフェ ぶらり、よってこ高洲
大 洲	1	おいで おおす

*助成金：3団体／計 147,000円

⑦おいで情報交換会

おいで団体を対象に、市社協からの助成金や活動する際の保険、レクリエーション用具等についての情報提供や情報交換の他、清水区で活動する「草薙テラス」より先進的な取り組みについてご報告いただきました。

実施日：令和4年7月28日

会 場：藤枝市福祉センター

参加者：12団体 17人



⑧「夕方以降の居場所づくり」に向けた関係団体情報交換会

「夕方以降の居場所」づくりを推進することを目指し、今年度においては、障害者の夕方以降の具体的なニーズを把握するため、障害者支援に携わる事業所等による意見交換を目的に情報交換会を行いました。

実施日：令和5年3月27日

会 場：藤枝市福祉センター

参加者：12団体 17人

◆◇効果◇◆◇

新型コロナウイルス感染拡大により活動の自粛をしていた団体が、会員からの再開を望む声を受け、感染対策を万全にして活動を再開してました。サロン活動が休会となつたことで、同じ地域に住む人たちとのつながりを持ち続けることの大切さを再確認でき、コロナ禍であつてもサロンとしてできる活動をしようという動きがみられました。

(2) 地区社協への支援

①運営及び活動助成

住民主体の地域福祉活動を一層推進するため、各地区社協へ運営費及び各種事業に対する事業費の助成を行いました。

《助成詳細》

助成の区分	対象	助成合計額	
地区社会福祉協議会運営助成金	10 地区	5,004,140 円	
地域福祉活動事業 助成金	福祉推進事業 地域福祉懇談会 ふれあいまつり 実行組織をつなぐ事業 実行組織活動支援	10 地区 9 地区 10 地区 3 地区 9 地区 14 団体	1,166,000 円 172,500 円 1,100,000 円 80,000 円 591,040 円
地区社協実行組織原油価格・物価高騰対策支援金	10 地区	3,298,000 円	

《福祉推進事業内容》

地 区	福祉推進事業	加算
瀬戸谷	①ジュニア福祉委員活動 ②広報紙の発行 ③三世代交流グラウンドゴルフ大会	子ども参加
稲 葉	①ジュニア福祉委員活動 ②広報紙の発行 ③三世代グラウンドゴルフ大会	子ども参加
葉 梨	①福祉講演会 ②葉梨地区社協だよりの発行 ③三世代グラウンドゴルフ大会	子ども参加
広 幡	①「ひろはたの窓」発行	
西益津	①西益津地区社協だより ②三世代交流歩け歩け運動 ③福祉講演会	子ども参加
藤 枝	①福祉講演会②地区社協だより「ぬくもり」の発行 ③ふれあい体験講座 ④三世代交流 ⑤グラウンドゴルフ大会	事業数 子ども参加
青 島	①老人憲章似顔絵・作文 ②社協だより「ふれあい」の発行 ③老人憲章絵手紙 ④秋の健康ウォーキング大会	事業数 子ども参加
高 洲	① 社協だよりの発行 ②住民福祉講座 ③防災研修会 ④こども福祉講座 ⑤三世代交流 ⑥春の作品展	事業数・ 子ども参加
大 洲	① 大洲地区ジュニア福祉交流活動	子ども参加
岡 部	①広報紙の発行 ②住民福祉講座 ③子ども福祉講座 ④高齢者世帯・一人暮らし世帯友愛訪問	事業数 子ども参加

②各地区社会福祉協議会への支援

地区社協の活性化を図るため、総会や理事会等の役員会、専門部会、企画委員会への出席、地域福祉懇談会開催に向けての打合せのほか、新しい事業の実施に向けた調整や打合せ等を行いました。

また、各地区社協が策定した行動目標の実現に向け行動目標・行動方針の周知を行うとともに、具体的な取り組みを支援しています。

③地区社会福祉協議会連絡会の実施

ア. 新任役員・企画委員研修会

開催日：令和4年4月19日

会場：市民ホールおかべ

内容：①講演「地域福祉とは」

②藤枝市の地区社協活動について

③地区社協の4つのはたらき・役割、行動目標・行動方針について

講師：藤枝市社協地域福祉アドバイザー 山本 伸晴 氏

参加者：49人

イ. 全体連絡会

【第1回】開催日：令和4年4月19日

会場：市民ホールおかべ

内容：①令和4年度の地区社協への支援について

②講演「藤枝市の地区社協 行動目標・行動方針の策定を終えて」

講師：藤枝市社協地域福祉アドバイザー 山本 伸晴 氏

参加者：93人

【第2回】開催日：令和4年9月7日

会場：生涯学習センター

内容：①講演「地域づくりの仲間づくり～みんなで作ろう！支え合いのある暮らし～」

②グループワーク「新しい仲間を増やすために地区社協で取組めそうなことにはどんなことがあるか？」

講師：さわやか福祉財団 新地域支援事業担当リーダー 澤 美杉 氏

参加者：63人

【第3回】開催日：令和5年3月1日

会場：生涯学習センター

内容：①台風15号の対応について

②グループワーク「災害をきっかけに改めて地域で困りごとを把握していくために」

参加者：49人

④企画委員研修会の実施

地区社協活動の活性化や住民主体の活動を支援していくため、企画委員会機能の強化及び地区社協を担う人材育成を目的に実施しました。

開催日：令和4年7月15日

会場：生涯学習センター

内容：①地区社協4つのはたらき・役割、企画委員会機能について

②企画委員会機能の強化に向けて

③グループワーク「次代の担い手をどう考えるか」

講師：藤枝市社協地域福祉アドバイザー 山本 伸晴 氏

参加者：42人

⑤地域福祉講演会の開催

地域福祉活動を実践するにあたり、地区社協役員や、地区社協を支える実行組織等に対し「地域福祉とは何か、日頃からできることは何か」ということをより深く理解していただくとともに、地域福祉活動は、地域に貢献したいという気持ちさえあれば始められるということを、広く一般住民に周知することを目的に実施しました。

開催日：令和4年6月17日

会場：生涯学習センター

内容：一緒に考える地域課題の把握・共有・取り組み方—福祉・暮らし・防災—

講師：駒沢大学文学部社会学科社会福祉学専攻 教授 川上 富雄 氏

参加者：104人

⑥地域福祉アドバイザー

地域福祉推進を効果的に実施するために配置し、今年度も引き続き、地域福祉研究所 山本 伸晴 氏に委嘱しました。地区社協に関する会議へ出席いただき、地域住民の生の声を職員とともに共有していただく中で、藤枝市の地域福祉活動・地区社協活動についての助言をいただきました。また、各地区担当職員の相談会の中で各地区の現状と課題を共有し、今後の支援方法等についてアドバイスをいただきました。

基本目標2 安心して地域で暮らせるまちづくり

年齢や障害の有無にかかわらず誰もが安心して地域で自分らしい暮らしを実現することは、地域福祉の根幹となります。地域における見守り活動や地域課題の早期発見・早期解決が可能な地域づくりを進めるとともに、緊急時や発災時に安心して過ごすための防犯・防災対策や、年齢や性別、身体の状況にかかわらず快適に暮らすための環境整備を進めます。また、誰もが自分らしく活躍できるまちづくりを進めるために、市民の権利が守られるまちづくりを推進します。

1 孤立させない地域づくり

(1) ふれあいの場・居場所づくりの推進【再掲】

(2) 見守りネットワークの強化

実施地区社協：藤枝地区社協

実 施 主 体：藤枝第4自治会

内 容：一人暮らし高齢者等を対象とした訪問活動を藤枝警察署が実施している「さくらセーフティーネット」と共に実施

2 防犯・防災の地域づくり

(1) 災害ボランティアの活動支援

①災害ボランティアコーディネーター養成講座

地震・風水害被害からの復旧・復興の過程では災害ボランティアの活動が期待されています。藤枝市が設置する「藤枝市災害ボランティアセンター」の役割と立ち上げ過程、運営方法（ICTの活用を含む）について理解し、市内外からかけつける災害ボランティア希望者と被災された市内地域住民をつなぐ（コーディネートする）役割を担う災害ボランティアコーディネーターを養成することを目的に実施しました。

開催日：【第1回】令和4年8月7日

【第2回】令和4年8月20日

会 場：西益津地区交流センター

修了者：13人

講 師：危機管理センター 松井 広善 氏

静岡県社会福祉協議会 松浦 史紀 氏

富士市社会福祉協議会 加藤 慎也 氏

共 催：藤枝市・西益津地区社会福祉協議会

協 力：災害ボランティア・コーディネーター藤枝（VCF）

②災害ボランティア・コーディネーター藤枝（VCF）への支援

情報共有と連携強化を図るため、毎月の定例会に出席しました。（出席回数12回）また、台風15号による災害ボランティアセンターの対応について、課題点等の共有を行いました。

③自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する連携協定の締結

地震や風水害などの大規模災害が発生し、市社協が災害ボランティアセンターを設置・運営する際に、要請に応じて必要な設備・資機材の提供、人的・物的支援の提供等の協力をいただくために、藤枝青年会議所と連携協定を締結しました。

実施日：令和4年9月20日

会場：藤枝市福祉センター



④令和4年台風15号による大雨被害への災害ボランティアセンターの設置・運営

令和4年9月に発生した台風15号で被災された人が一日も早く通常の生活に戻ることができるよう、災害ボランティアセンターを立ち上げ、家財の運び出しや土砂の撤去、家屋の清掃等にご協力いただけたボランティアを募集し、派遣を行いました。静岡県共同募金会から「赤い羽根共同募金」災害等準備金による支援金の交付を受け、設置・運営を行いました。

令和4年9月26日～ ボランティア登録受付開始

令和4年9月29日～ ボランティア派遣を開始

緊急性の高いニーズに対し、VCF、
ライオンズクラブ、JC、の協力を
得て対応

ボランティア依頼件数（対応件数） 138人

（対応地域：稲葉、葉梨、広幡、藤枝、青島、岡部）

ボランティア登録者 221人

ボランティア実活動人数（延べ人数） 514人

《今後の課題》

- ・市の防災計画における災害ボランティアセンター設置場所の検討
- ・災害時における市との連携体制、災害ボランティアセンター運営体制の見直し
- ・災害ボランティアセンター運営時におけるICTの更なる活用の研究



（2）ICT（情報通信技術）を活用した災害ボランティアセンターの機能強化にむけた設備

①ICTを活用した運営訓練

藤枝市が設置する「藤枝市災害ボランティアセンター」の役割と立ち上げ過程、運営方法（ICTの活用方法を含む）について理解し、円滑かつ効果的に運営することを目的に実施しました。

開催日：令和4年9月10日

会場：高洲地区交流センター

参加者：67人

共催：高洲地区社会福祉協議会

②災害ボランティアセンター運営連絡会

【第1回】実施日：令和4年7月7日

内容：災害ボランティアセンター関連事業についての情報共有

参加者：大規模災害対策課、地域防災課、介護福祉課、VCF、市社協

【第2回】実施日：令和4年12月13日

内 容：台風15号への対応における課題共有

参加者：大規模災害対策課、介護福祉課、市社協

③災害ボランティア活動資機材の整備

災害発生時、直ちにボランティア活動に着手できるようにするため、赤い羽根共同募金の助成により、市内の特別養護老人ホーム愛華の郷（社会福祉法人三愛会）の敷地内に、災害ボランティア活動用資機材を整備しました。これに伴い、令和5年1月16日、社会福祉法人三愛会と市社協で「災害ボランティア活動用機器倉庫の設置及び使用に関する覚書」交換式を行いました。

また、市内に5カ所設置している災害ボランティア活動用資機材および倉庫の点検・確認作業を行いました。

（3）周辺市町との連絡調整

①災害時志太榛原地区社協広域連携推進事業

（藤枝市・焼津市・島田市・牧之原市・吉田町・川根本町）

発災時に近隣の市町同士で災害ボランティアセンターの運営に関して相互支援ができる関係を築くため、近隣市町社協および商工会議所、青年会議所、ライオンズクラブ、ボランティアコーディネーター等を対象に勉強会及び情報交換会を行いました。

【第1回】実施日：令和4年8月19日

内 容：講演「Kintoneで取り組むICT活用と業務改善」

講 師：横浜市社会福祉協議会 原田 亮 氏

会 場：文化センター

参加者：20人

【第2回】実施日：令和5年2月8日

内 容：①講演「近隣地域での連携、多様なセクターとの連携、行政との平時からの関係強化により次なる災害に備える」

②台風15号における各市町の活動報告

③ グループワーク

講 師：Office SONOZAKI 園崎 秀治 氏

会 場：焼津市総合福祉会館

参加者：48人

◇◆◇効果◇◆◇

台風15号により藤枝市も被害を受け、実際に災害ボランティアセンターを立ち上げたことで、災害対応NPOOPEN JAPANや藤枝青年会議所、ライオンズクラブ、マジオドライバーズスクール藤枝、一般ボランティアの皆さんなど、これまで深くつながりのなかった個人や団体と関係を築くことが出来たことは、とても価値のあるものだったと考えます。

また、今回のセンター運営や対応を通じて、見直すべき課題が浮き彫りとなり、今後地震だけではなく水害などにも対応できる運営マニュアルの改訂を行うとともに、平時からの体制づくりの強化に努めます。

3 人にやさしいまちづくり

(1) 成年後見制度の推進

① 成年後見支援センター事業（市委託事業）

成年後見制度の活用を支援するため、相談や申立支援等に対応しました。

《成年後見支援センター相談》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
相談件数	10	12	14	24	13	14	20	20	22	28	14	25	216 件	194 件
内、司法書士権利擁護相談件数	1	1	2	1	2	2	0	2	1	1	1	0	14 件	17 件

② 市民後見人養成講座（市委託事業）

島田市・焼津市・川根本町の3市1町の共催により、市民後見人育成事業に取り組みました。

ア. 第6期市民後見人養成講座

《事前説明会》

実施日：①令和4年5月21日 ②令和4年5月26日

会場：①焼津市総合福祉会館 ②島田市社会福祉協議会

参加者：①8人 ②6人

《一次選考（書類審査）》

申込者：13人（藤枝7人、焼津5人、島田1人）

通過者：13人（藤枝7人、焼津5人、島田1人）

《二次選考（面接審査）》

実施日：令和4年7月4日

会場：焼津市総合福祉会館

参加者：13人（藤枝7人、焼津5人、島田1人）

合格者：10人（藤枝5人、焼津4人、島田1人）

《市民後見人養成講座（全11回）》

実施日：【基礎講座】第1回 令和4年7月30日 第2回 令和4年8月3日
第3回 令和4年8月17日 第4回 令和4年8月27日
【実務講座】第1回 令和4年9月28日 第2回 令和4年10月8日
第3回 令和4年10月12日 第4回 令和4年10月22日
第5・6回 令和4年10月（施設体験実習2回）
第7回 令和4年10月26日

会場：焼津市総合福祉会館 他

参加者：10人（藤枝5人、焼津4人、島田1人）

《職員による中間面談（各市町で実施）》

実施日：令和4年9月5日

会場：藤枝市福祉センター

参加者：5人（藤枝市）

《終了時面接》

実施日：令和4年12月12日

会場：焼津市総合福祉会館

法人後見受任に対する審議を行うため実施しました。

会 場	実 施 日
焼津市総合福祉会館	6月13日、8月8日、9月12日、11月14日、令和5年1月16日、2月13日

⑤ 3市1町成年後見推進委員会（市委託事業）

島田市・焼津市・川根本町との3市1町で市民後見人養成講座等の成年後見事業を実施するために、広域連携のあり方や養成講座の内容について検討しました。

会 場	実 施 日
焼津市総合福祉会館	5月23日、10月17日、令和5年3月13日

⑥ 3市1町成年後見担当者会議（市委託事業）

3市1町成年後見推進委員会を実施するために、事前に担当者会議を実施しました。

会 場	実 施 日
焼津市総合福祉会館 他	4月28日、6月1日、6月27日、7月21日、9月2日、9月27日、10月31日、12月1日、12月26日、令和5年2月2日、2月28日

⑦ 権利擁護検討会議の開催

司法等専門職の協力を得て、権利擁護支援が必要な方の支援方針や申立人、後見人等候補者の選定、チーム体制や支援体制を検討しました。

会 場	実 施 日
藤枝市役所、藤枝市福祉センター 他	4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月18日、9月15日、10月13日、10月20日、11月17日、11月24日、12月15日、12月22日、令和5年1月12日、1月19日、2月16日、2月24日、3月16日、3月23日

検討事例数 累計 35件（高齢者26件、障害者9件）

内受任調整 13件（高齢者10件、障害者3件）

⑧ 専門機関との情報交換会

困難・複雑なケースの生活課題の解決には、各専門機関の連携強化が求められているため、各専門機関同士、情報交換や知識の共有・人的ネットワークの構築を目的に情報交換会を開催しました。

実施回数：6回

実 施 日：令和4年5月12日、令和4年7月14日、令和4年9月14日、

令和4年11月11日、令和5年1月12日、令和5年3月15日

内 容：事例検討、情報交換 他

⑨ 住民向け権利擁護啓発事業（市委託事業）

権利擁護に対する理解を深め、成年後見制度など必要な制度の活用に繋げていくことを目的に実施しました。

実施日：令和4年11月15日

会 場：生涯学習センター

内 容：【第1部】講話「成年後見制度について」

講師：成年後見センターリーガルサポート静岡支部

司法書士 青島 英一郎 氏

【第2部】映画上映「梅切らぬバカ」

参加者：104人

⑩ 成年後見制度入門講座（市委託事業）

【第1回】実施日：令和5年2月7日

会 場：藤枝市福祉センター

講 師：成年後見センターリーガルサポート静岡支部 司法書士 金子 伸也 氏

【第2回】実施日：令和5年2月21日

会 場：藤枝市福祉センター

講 師：ふるい後見事務所 認定社会福祉士 古井 慶治 氏

内 容：成年後見制度の仕組みや手続き、成年後見人の職務と活動例、「想いつむぎノート」の活用方法

参加者：延べ78人（①会場 25人、ZOOM 16人、②会場 21人、ZOOM 16人）

⑪ 日常生活自立支援事業（県社会福祉協議会委託事業）

認知症高齢者、知的障害や精神障害のある人等の中で判断能力が不十分な人に対して、地域で安心して生活が送れるように、福祉サービスの利用手続きや公共料金の支払手続き、金銭管理等の支援を目的に実施しました。

《利用者の状況》 *利用料：1,000円／支援（生活保護世帯は自己負担なし） 金庫代300円

内容	対象者（人）				計	前年度
	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他		
利用者数	0	7	20	4	31人	28人
（うち貸金庫利用者）	0	2	5	1	8人	6人
新規契約者	0	3	2	2	7人	9人
解約者	0	1	1	1	3人	6人
実働生活支援員					14人	11人

《相談援助件数》

内容	本事業の利用に関するもの				その他	計	前年度
	対象者	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者			
問合せ件数	1	1	0	5	0	7件	7件
初回相談件数	3	3	7	10		23件	21件
相談援助件数	5	291	1,316	532		2,144件	2,464件
計	9	295	1,323	547	0	2,174件	2,492件

(2) 声の広報・点字の広報【再掲】

◇◆◇効果◇◆◇

令和3年度に引き続き、講座開催時にZOOMを活用するなど新型コロナウイルス感染拡大防止と制度の利用促進・普及啓発を両立する方法を模索しながら実施しました。

また、今年度の新たな取り組みとして、市民後見人養成講座を修了した法人後見支援員を対象として、受任に向けての意向調査を実施、市単独で情報交換会や研修会を実施し、名簿登録後のフォローアップにつなげました。

基本目標3 福祉サービスの充実と利用しやすい環境づくり

複合化・複雑化した課題や現状の支援体制では見逃されてしまう課題に対応するために、高齢、障害、子育て、生活困窮等、これまで強化してきた各機関の機能を最大限に活かしながら、あらゆる相談を受け止め、課題解決に向けた支援を関係機関が協働して行う、包括的支援体制を構築していきます。

また、市民ニーズに沿ったきめ細かな福祉サービスを充実させるとともに、必要な人に必要なサービスが提供されるよう情報発信体制を強化していきます。更に、地域の誰もがそれぞれの能力を発揮し、まちづくりに参画できる環境を充実させます。

1 包括的な支援を行う体制づくり

(1) 相談窓口の充実

①福祉総合相談（ふくし相談）

住民の抱えるさまざまな問題等に広く対応することを目的に、適切なサービスや機関、制度等の情報提供や各種資金の貸付相談を実施しました。また、体制の充実を図るため、市に設置された自立生活サポートセンター内に社協サテライトを併設し、相談員を配置しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
相談件数	146	151	131	135	145	168	104	187	147	168	161	155	1,798 件	1,959 件

②家計相談事業（市委託事業）

生活困窮者自立支援法に基づく家計改善支援事業における家計改善支援員業務を、市に設置された「藤枝市自立生活サポートセンター」において広く相談等に対応して、センターの円滑な運営に努めました。

《家計相談》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
新規相談件数	14	17	16	16	16	17	7	10	12	16	12	15	168 件	232 件
プラン作成件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件	0 件

③安心すこやかセンター（地域包括支援センター）※市委託事業（担当地区：青島地区の一部）

地域で生活する高齢者を、介護、福祉、医療などの面から総合的に支援しました。また、地域の介護支援専門員への指導・助言の外、さまざまな関係機関との連絡調整（ネットワークづくり）に努めました。

ア. 総合相談事業

介護に関する相談や悩み以外にも、健康や福祉、医療、生活に関することなど高齢者における総合的な相談に対応し、適切なサービスや機関、制度の利用につなげました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
相談件数	54	56	85	77	57	98	68	60	37	68	63	85	808 件	888 件
実態把握件数	3	0	3	2	3	3	2	1	1	1	1	1	21 件	26 件

イ. 介護予防ケアマネジメント事業

介護保険要支援1・2、事業対象者と判定された利用者のために、居宅介護支援事業所の介護支援専門員が、利用者の主体性を重んじた介護予防サービス計画を作成できるよう支援に努めました。また、介護保険の請求事務として給付管理業務も行いました。地域支援事業として、アクティブラジニア大学の希望者に申請の手続きや相談対応も行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
委託請求件数	169	170	170	161	158	151	149	147	141	146	139	128	1,829件	2,201件

ウ. その他の委託事業

よりよい地域の連携体制づくりを目指した「地域包括支援ネットワーク構築会議」「地域ケア会議」やできるだけ介護状態にならないための「介護予防普及啓発事業」を実施しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
地域ネットワーク会議	0	0	1	2	0	1	0	1	2	0	0	1	8回	10回
介護予防普及啓発事業	1	2	1	2	1	2	0	0	0	0	0	0	9回	3回
地域ケア会議	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3回	12回
家族介護教室	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1回	1回
高齢者虐待対応会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0回	0回
介護予防把握訪問	0	8	4	0	0	0	19	1	0	4	1	0	37回	49回

④藤枝市相談支援事業(市委託事業)

障害者やその家族の相談に応じ必要な情報提供を行うとともに、関係機関との調整や権利擁護のために必要な支援を行い、地域生活を支援しました。藤枝市役所障害福祉課内に設置された藤枝市基幹相談支援センター内で、藤枝市、(福)富水会、(福)天竜厚生会の相談員とともに相談を担っていました。

相談対象者の障害種別(実人数)					相談件数	前年度
身体障害児者	知的障害児者	精神障害児者	その他	計		
14人	51人	86人	21人	172人	1,902件	2,232件

・成年後見支援センター事業【再掲】

・ボランティアセンター事業

(2) 生活支援コーディネーターによる地域づくりの推進

①生活支援体制整備事業(市委託事業)

第2層専任生活支援コーディネーターとして地区担当者（第2層兼任生活支援コーディネーター）とともに、支え合いの地域づくり会議と新しい事業の実施に向けた調整や打合せを行い、事業も実施しました。また、住民の声に素早く対応するため、随時相談対応を行っています。

《支え合いの地域づくり会議 開催状況》

地区社協	開催日
瀬戸谷	4月26日、6月14日、7月27日、8月31日、9月30日、11月9日、1月18日、3月14日
稲葉	6月15日、10月27日、2月1日
葉梨	4月14日、5月12日、6月9日、7月14日、8月18日、9月15日、10月13日、12月15日、2月9日、3月9日
西益津	9月3日、3月4日
藤枝	7月20日、9月15日、11月17日、2月15日
青島	11月19日、12月17日
高洲	4月20日、6月23日、8月20日、10月20日、10月29日
大洲	3月18日
岡部	2月5日

②市主催の「支え合いの地域づくり」に関する取り組みへの参加

生活支援体制整備事業第1層協議体（出席回数3回）、移動支援サービス事業連絡会（出席回数1回）、移動支援研究会（出席回数1回）

③生活支援サービス事業への支援

生活支援サービスを実施している団体やこれから立ち上げようとしている団体が実施する会議等へ出席し、他地区の情報提供を行うなど、円滑な事業運営のために継続的な支援を行いました。

《生活支援サービス実施地区》

実施地区	団体数	対象地域と団体名
広幡	1	広幡全域（広幡お助け隊）
青島	3	田沼南町内会（田沼支え愛の会）、青島第5自治会（駿河台支えあいの会ぼちぼち）、青島第8自治会（青島第8助けあいの会はちすけ）
藤枝	1	藤枝第1自治会（まめっ隊）
高洲	1	高洲全域（高洲手んだい隊）
大洲	1	大洲全域（大洲自立支援部 手助け支援）

※生活サポートサービスキー坊大縁隊は、対象地域が藤枝市全域です

④生活支援サービス事業実施団体連絡会

生活支援サービス事業を実施する団体が、運営上の悩みや活動に関する悩み、課題等を共有し、解決のための手法について話し合い、事業を円滑に進めていくための情報交換の場として実施しました。また、新たに立ち上げを検討している関係者にも参加を呼びかけ、情報提供を行いました。

実施日：令和5年2月3日

内 容：グループワーク「本当に手助けの必要な人をどう把握し、利用登録につなげるか」

会 場：藤枝地区交流センター

参加者：15団体 37人（実施団体 8団体 18人、立ち上げ検討団体 7団体 19人）

◇◆◇効果◇◆◇

地区社協や自治会・町内会主体で生活支援サービスの実施や、実施に向けた検討を始める団体が増えてきました。それぞれの地域の課題に向き合い、住民の力で解決に向けた取り組みが活発に行われることが、地域の福祉力向上に繋がっています。

(3) 地域で支える仕組みづくりの推進

① コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置研究

「第5次藤枝市地域福祉活動計画」1年目である今年度は、既存の福祉サービスだけでは対応困難な人の課題解決に向け、相談から適切な機関・サービス等へのつなぎ、見守りや地域のつながり強化、新たなサービスや仕組みの開発等の役割を担うコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置に向けた研究として、先進的に取り組みを行っている富士市社会福祉協議会の組織や事業の運営状況等について視察を行いました。また、職員育成による体制づくり強化への一環として、養成講座を受講しました。

ア. 観察

開催日：令和5年2月27日

観察先：富士市社会福祉協議会

内容：CSWの具体的な業務内容、組織体制等の聞き取り 他

参加者：市社協職員2人

イ. コミュニティソーシャルワーカーの育成

開催日：令和4年7月15日～16日、令和5年2月17日～18日 計4日間

会場：静岡県総合社会福祉会館、Zoomによるオンライン

内容：県社協主催「コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修会」の受講

参加者：市社協職員3人

2 きめ細かな福祉サービスの提供と利用しやすい環境づくり

(1) 多様なサービスの提供

高齢者や障害者の皆さんのが、在宅で安心していきいきと暮らしていくために、介護保険法や障害者総合支援法等に基づいて在宅福祉サービスの充実を図りました。また、適切な運営を行うとともに、利用者の立場に立った介護・医療のサービスを提供し、経営の安定化を目指しました。

① 介護保険事業

ア. 居宅介護支援事業

介護保険サービスを利用するためには、要介護認定結果に基づき居宅サービス計画（ケアプラン）を作成することが必要となります。介護支援専門員（ケアマネジャー）が、利用者と各サービス事業所との連絡調整を図って、利用者の主体性を重んじた居宅サービス計画の作成に努めました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
件 数	104	107	104	109	110	109	113	110	115	108	107	107	1,303 件	1,168 件
委託件数	14	14	15	14	13	13	13	13	15	15	14	14	167 件	297 件

イ. 訪問介護事業

身体介護では入浴や清拭を、生活援助では掃除・調理・買い物代行等のサービスを提供しています。サービス提供時の記録や連絡事項等ではタブレット及びタブレット用介護ソフトの導入により事務の効率化、ヘルパーの働き方改革を進めています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	29	27	29	29	27	26	26	31	31	30	28	26	339人	423人
訪問回数	332	307	328	306	295	283	267	286	298	281	254	272	3,509件	4,640件
提供時間	302	277	298	272	269	272	254	279	288	266	238	252	3,267時間	4,135時間

ウ. 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業訪問介護）

要支援1・要支援2に認定された方を対象に 本人が自分で行うことが困難な入浴、排せつ、食事等の介護や 調理、洗濯、掃除等の家事を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	14	14	14	14	13	10	10	10	11	11	11	10	142人	217人
訪問回数	79	80	74	74	78	58	55	54	54	51	46	50	753件	1,200件
提供時間	71	71	66	66	70	53	50	49	50	47	42	45	680時間	1,056時間

エ. 訪問看護ステーション事業

医療保険、介護保険いずれの場合でも、主治医が作成する訪問看護指示書に基づき利用者の日々の健康管理からターミナルケアまで幅広く利用者本人と家族の希望と状況に応じて医療的視点と、利用者、家族に寄り添った視点で訪問看護を提供しました。

《介護保険》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	25	32	31	33	28	32	34	39	38	36	34	31	393人	314人
訪問回数	81	109	130	141	121	131	124	125	128	114	113	98	1,415件	1,203件
提供時間	49	73	85	115	102	85	78	76	103	78	78	63	985時間	714時間

《医療保険》

利用者数	16	16	18	17	21	21	21	19	18	19	20	21	227人	226人
訪問回数	90	82	109	114	124	142	115	135	113	109	124	130	1,387件	1,264件
提供時間	84	78	101	129	114	117	103	120	149	95	107	113	1,310時間	1,279時間

《難病患者介護家族リフレッシュ事業》

	利用者数	利用回数	提供時間
今年度	1	1	2時間
前年度	1	1	2時間

《医療連携業務委託事業》認知症グループホームへの訪問

	契約事業所数	定期利用回数	緊急利用回数
今年度	3(1ユニット9名×4)	136	0
前年度	1(1ユニット9名)	51	0

オ. 介護保険対象外生活支援サービス事業

市社協の介護保険サービス利用者を対象に、ごみ出しや通院介助などの介護保険制度対象外のサービスを提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	1	3	1	2	0	2	4	2	1	2	1	2	21人	28人
訪問回数	1	4	1	2	0	3	4	2	1	2	1	2	23件	33件
提供時間	2	6.5	2	2.5	0	5.5	5.5	4.5	1	3	0.5	3.5	36.5時間	51時間

②障害福祉サービス事業

ア. 障害福祉サービス事業

支給決定を受けた障害者（児）に対し、心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようサービス等利用計画に基づいて、サービスを提供しました。

《居宅介護》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	46	45	45	43	43	42	44	44	41	43	45	45	526人	561人
訪問回数	554	573	567	520	551	532	495	540	514	486	451	552	6,335件	6,631件
提供時間	425	441	431	410	438	423	400	421	405	384	375	453	5,006時間	5,042時間

《重度訪問介護》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26人	24人
訪問回数	132	118	110	111	104	110	115	109	112	105	102	113	1,341件	1,271件
提供時間	391	337	305	317	310	310	318	307	317	319	285	312	3,828時間	3,991時間

《同行援護》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	10	10	11	10	10	11	10	12	11	12	12	12	131人	147人
訪問回数	54	54	56	53	51	52	45	54	54	44	53	51	621件	689件
提供時間	117	128	134	125	108	118	116	137	129	121	134	119	1,486時間	1,679時間

イ. 計画相談支援・障害児支援利用計画（特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所）

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスを利用するためには、サービス等利用計画案を作成することが必要となります。相談支援専門員が、利用者と各サービス事業所との連絡調整を図って、利用者の主体性を重んじた計画案、計画の作成、利用状況の検証および計画の見直し（モニタリング）を行いました。

児童福祉法による障害児通所支援サービスを利用するためには、「障害児支援利用計画案」を作成することが必要となります。相談支援専門員が障害児の保護者と各サービス事業所との連絡調整を図って、障害児の状況や保護者の移行を勘案し、計画案、計画、利用状況の検証および計画の見直し（モニタリング）を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
障害者	108	86	81	96	101	86	103	88	86	98	85	84	1,102 件	1,144 件
障害児	41	52	59	50	35	35	34	39	44	43	29	44	505 件	591 件

ウ. 地域相談支援サービス（一般相談支援事業所）

障害者総合支援法により支給決定を受けた方に対し、支援を行いました。

1) 地域移行

入所施設や精神科病院等からの退所・退院にあたって支援を要する者に対し、入所施設や精神科病院等における地域移行の取組と連携しつつ、地域移行に向けた支援を行います。

2) 地域定着

入所施設や精神科病院から退所・退院した者、家族との同居から一人暮らしに移行した者、地域生活が不安定な者等に対し、地域生活を継続していくための支援を行いました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
地域移行	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	1	2	19 件	4 件
地域定着	2	1	2	2	1	1	2	2	2	2	1	0	18 件	22 件

エ. 移動支援事業（市委託事業）

屋外での移動に困難がある障害者（児）に対し地域での自立生活及び社会参加を促すことを目的として、移動支援サービスを提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	6	6	8	4	4	7	8	9	8	6	10	11	87 人	118 人
訪問回数	24	25	28	16	17	24	27	30	27	26	31	38	313 件	397 件
提供時間	19	21	27	12	12	22	25	27	27	20	34	37	283時間	413時間

オ. ライフサポート事業（自宅等での支援）（市委託事業）

障害者総合支援法を補完する事業として、障害のある人やその家族が地域で安心して生活できるよう、自宅での介護を提供しました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
利用者数	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	5 人	5 人
訪問回数	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	7 件	5 件
提供時間	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	7時間	3時間

③放課後等デイサービス「社協ルピナス」の運営

就学している障害児に対して、放課後や夏休み等の学校休業日において、生活能力向上のための訓練等を継続的に提供しました。

また、療育活動として、作業療法、絵手紙、音楽、体操や絵付け教室などを取り入れ障害児の自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進し放課後等デイサービスの運営に努めました。なお、防犯カメラを設置し防犯対策等を図っています。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	20	19	22	20	22	20	20	20	19	19	19	22	242日	240日
内1日開所日数	6	3	1	5	18	0	1	2	6	4	1	16	63日	59日
利用者数	204	214	219	200	241	211	214	218	182	221	211	258	2,593人	2,644人
1日平均	10.2	11.3	10.0	10.0	11.0	10.6	10.7	10.9	9.5	11.6	11.1	11.7	10.71人	11.0人

④生活介護事業所「ポップライフ」の運営

重症心身障害者の通所施設として、入浴・食事・送迎の提供さらに機能訓練や創作・音楽活動等個々にあったサービスの提供を行いました。また、地域生活支援事業（日中一時支援）として通所施設での時間外預かりにより日中活動の場を提供し、見守り及び社会に適応するための日常的な訓練を行いました。

《障害福祉サービス》

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	22	21	24	22	24	22	22	22	23	21	21	24	268日	268日
利用者数	479	487	530	474	484	476	458	496	498	442	427	506	5,757人	5,645人
1日平均	21.8	23.2	22.1	21.5	20.2	21.6	20.8	22.5	21.7	21.0	20.3	21.1	21.5人	21.1人

《地域生活支援事業》（藤枝市・焼津市・吉田町委託事業）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所日	6	2	3	2	6	4	6	8	7	9	5	4	62日	44日
利用者数	4	1	2	2	5	3	3	7	5	5	3	4	44人	35人

《ライフサポート事業（短期入所）》（藤枝市委託事業）※1回：1泊2日で実施

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
開所回数	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	6回	12回
利用者数	0	0	0	4	1	5	5	3	3	0	0	0	21人	55人

◇◆◇効果◆◆◇

各事業所では、地域の方やさまざまな機関・事業所等と連携を図り、利用者及び介護者の意向を把握し、各種サービスを提供することで利用者が地域で安心し、自分らしさを發揮し、生活していただいているいます。

（2）福祉サービスの利用支援

- ・日常生活自立支援事業【再掲】

（3）支援体制の周知

- ・広報・啓発事業【再掲】

(4) 生活困窮者の自立支援

①各種資金貸付事業

低所得世帯や障害者世帯等の経済的自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活を営めるよう、緊急かつ一時的費用として生活費、教育費、医療費等の資金貸付を行いました。令和2年3月より行ってきた新型コロナウィルス感染症に伴う緊急小口資金特例貸付等の相談及び手続きについては、令和4年9月末をもって事業終了となりました。引き続き、市自立生活サポートセンターをはじめとしたさまざまな機関等と連携し、生活に困窮した世帯の相談支援等を行っています。

種 別	申請件数(件) (前年度)	申請金額(円) (前年度)
小口資金貸付 (生活費など 貸付限度額10万円 無利子)	0 (0)	0 (0)
高額療養費貸付(市委託事業) (無利子)	23 (17)	4,877,706 (2,046,986)
県 社 協 取 次	生活福祉資金	6 (4)
	緊急小口資金特例貸付 (無利子)	45 (159)
	総合支援資金特例貸付 (無利子)	25 (96)

②自転車及び卓上コンロ支援事業

生活困窮者の自立と生活の質の向上や就労につなぐことを目的として、自転車の助成を行いました。

助成実績：自転車2台（前年度 1台）

③子ども食堂支援事業

子ども食堂実施団体からの情報収集を行うとともに、寄附や助成金に関する情報提供を行いました。また、各団体の活動の充実・継続のための支援として、活動に必要な経費の一部負担を行いました。

市内の子ども食堂実施団体：5団体 内活動経費助成：2団体、助成額14,501円

④ふじえだ暮らしをつなぐ支援事業

生活困窮者等が地域で自立した生活を送ることができるよう、多機関と連携しながら暮らしの環境を整えるための支援を行いました。

相談件数：3件

支給件数：1件

内 容：就労準備支援 22,000円

（就職活動を行う際の交通費、携帯電話の通信費、就職活動に必要な物品購入費）

⑤年越し支援金事業

9月5日号の「ふじえだ社協だより」No.227で助成金申請手続きの周知を行うとともに、各地区民生委員・児童委員の協力を得て、歳末たすけあい募金から、生活が困窮していて支援を必要としている世帯に対して、支援金を助成しました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により収入が減少した等の理由により「非課税世帯である」という条件に当てはまらない生活困窮者の支援につなげるため、特例として区分Bの申請枠を設けました。

	【区分A】			【区分B】		
	対象世帯	新入学祝い	助成合計額	対象世帯	新入学祝い	助成合計額
計	530世帯／718人	8人	4,126,000円	43世帯／97人	2人	419,000円
前年度	502世帯／678人	6人	3,896,000円	24世帯／70人	2人	270,000円

⑥フードドライブ事業への協力

NPO法人フードバンクふじのくにが実施するフードドライブに協力し、各地区交流センター等に食品回収ボックスを設置して、家庭で眠っている食品の回収を行いました。また、藤枝市福祉センターと在宅福祉センターおよび藤枝市役所では、食品回収ボックスを常設しています。

なお、回収された食品は、生活に困窮し食の確保が困難な世帯へNPO法人フードバンクふじのくにの協力を得て支援されました。

*フードドライブ <夏期> 実施期間 令和4年8月1日～31日

回収ボックス設置 17カ所

回収量 565.35kg (前年度 329.35 kg)

<冬期> 実施機関 令和4年12月21日～令和5年1月31日

回収ボックス設置 17カ所

回収量 600.70kg (前年度 691.25kg)

<常設> 実施機関 令和4年4月1日～令和5年3月31日

回収ボックス設置 1カ所

回収量 1274.37kg (前年度 653.24kg)

*緊急食料支援 299件 (前年度 283件) ※市自立生活サポートセンターにて対応

3 地域生活・社会へ参加しやすいまちづくりへの支援

(1) 外出が困難な人の社会参加の支援

①福祉車両の貸出

下肢に障害があり歩行が困難な人の社会参加促進を図るため、社協が所有する福祉車両を貸しました。また、運転する人がいない場合には、社協に登録する運転ボランティアの調整を行いました。※車両台数：3台（走行距離に応じ燃料は各自負担）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年度
ボランティア依頼	4	4	3	4	3	4	5	4	4	3	6	5	49件	47件
家族・知人	13	12	11	7	12	9	10	8	7	6	7	15	117件	165件
貸出件数	17	16	14	11	15	13	15	12	11	9	13	20	166件	212件

②藤枝市地域支え合い出かけっ CAR サービス事業（市委託事業）

《葉梨地区社協：葉梨ささえ愛隊》

地域のボランティアが葉梨地区の高齢者のために買い物支援、会食会会員の送迎を支援、令和5年3月から通院時の送迎を新たに開始

《西益津地区社協：お出かけ支援隊》

地域のボランティアが西益津地区の高齢者のために買い物支援、通院時の送迎を支援

《藤枝地区社協：藤枝ふれあい出かけっ CAR》

地域のボランティアが藤枝地区の高齢者の買い物支援を行うため、令和5年3月から試行運行を開始

《高洲地区社協：高洲足すとし隊》

地域のボランティアが高洲地区の高齢者のために買い物支援のための送迎を支援

《大洲地区社協：ノアの運ぶ隊》

地域のボランティアが大洲地区の高齢者のために買い物支援、ふれあい会食会・ふれあいサロンの送迎を支援

③車いすの貸出

買い物などの外出や病気やケガなどにより一時的に車いすを必要とする市内在住の方に貸出を行いました。また、福祉体験学習を行う学校やボランティア団体に対しても車いすの貸出を行いました。

保有台数(前年度)	年間貸出件数(前年度)
42 台(56 台)	138 件(109 件)

基本目標 4 地域の社会資源を育む仕組みづくり

地域福祉に参画する多様な主体を育成し、活躍できる仕組みを構築することは、地域における地域福祉活動を活性化させ、互いに支え合うまちづくりにつながります。地域福祉を担う人材やボランティア等の組織の育成や支援、新たな担い手を育むための施策を展開していきます。また、地域づくりに多様な主体が参画しやすい環境を整備するとともに、地域における多様な主体が連携し、活躍できる体制を充実させます。更に、近隣市町や県等と広域的な連携を推進していきます。

1 地域福祉を担う人材・組織を育む体制づくり

(1) ボランティア活動の推進

「藤枝市ボランティアセンター」では、ボランティアや企業、個人の社会貢献活動の拠点として、ボランティアに関する相談や各種助成金等の情報提供及び社会貢献活動の促進等を行いました。

①ボランティア入門講座

さまざまな地域活動に参加する人材を発掘・育成するため、ボランティアに興味・関心のある住民を対象にボランティア入門講座を行いました。

【第1回】実施日：令和4年6月10日

【第2回】実施日：令和4年6月24日

会 場：葉梨地区交流センター

内 容：ボランティアの必要性や重要性、活動の心構えやノウハウを学ぶための講演会、団体活動者による活動紹介

講 師：子育て支援ネットワークぴっぴ 理事長 原田 博子 氏

藤枝市ボランティア連絡協議会 前代表 小池 操 氏

集いの場所サンライズ 理事長 野村 美成 氏

サークルふじ ボランティア 水野 君子 氏

話し相手（傾聴）ボランティア「えがお」 代表 岩本 節子 氏

藤枝21世紀の森づくりの会 代表 鈴木 俊博 氏

参加者：延べ28人

②ボランティア相談

ボランティア相談合計 (前年度)	50件 (22件)	内訳	ボランティア依頼 15件(4件) ボランティア希望 17件(10件) その他問合せ 18件(8件)
---------------------	--------------	----	---

③65歳以上の人へのボランティア活動促進

市介護福祉課が月1回開催している「65歳到達者説明会」にて、「ボランティアしませんか！週1日は地域貢献デイ」のチラシを配付し、ボランティア活動促進を行いました。

配付枚数：1,875枚

(2) 福祉を担う人材の育成

①各種資格の現場実習受入

地域に根ざした社会福祉法人として、将来を担う福祉専門職等を育成するため、各種実習の受け入れをしました。

*看護師…令和4年5月11日～19日(6日間)	/	中部看護専門学校	2人
令和4年6月23日・24日(2日間)	/	東京衛生学園専門学校	1人
令和4年6月30日・7月1日(2日間)	/	東京衛生学園専門学校	1人
令和4年9月21日(1日間)	/	藤枝市立総合病院	2人
*社会福祉士…令和4年8月16日～9月15日(24日間)	/	静岡福祉大学	1人
令和5年2月27日～3月3日(5日間)	/	静岡英和学院大学	1人

②市民後見人育成事業【再掲】

◇◆◇効果◇◆◇

社会福祉法人の使命を果たすだけでなく、職員が担当業務を学生に説明することで、その事業の意義を再認識したり、地域に対して物事をわかりやすく説明することの訓練になったりしています。実践現場で学生とボランティアとのやり取りを客観的に見ることで、今一度その事業の進め方等を見直すことにもつながりました。

2 多様な主体が活躍する環境づくり

(1) ボランティア人材の育成

①ボランティア登録

市民活動団体支援室とボランティア募集の情報共有を行うほか、登録者への情報提供を行いました。

《ボランティア登録数》

() 内は前年度

	団体活動者		個人活動者	計
ボランティア数 (前年度)	178 団体 (172 団体)	4,383 人 (4,007 人)	253 人 (95 人)	4,636 人 (4,102 人)

②ボランティア保険

ボランティア活動中の不慮の事故に備え、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険・ボランティア行事用保険の加入を促進しました。

《ボランティア活動保険》

() 内は前年度

加入者数	3,283 人 (3,064 人)	内、個人負担	1,327 人 (1,192 人)
		内、社協負担	1,956 人 (1,872 人)

《ボランティア行事用保険》

() 内は前年度

加入件数	36 件 (39 件)	加入者数	2,706 人 (2,786 人)
------	----------------	------	----------------------

③ふじえだ生き生き助成金

ボランティア団体や自治会・町内会、障害当事者団体等が市内で実施する地域福祉を推進する各種の活動を支援するため、共同募金助成金により助成しました。

決定団体：10 団体

決定額：525,675 円

④ボランティア養成事業

ア. 託児ボランティア養成講座

子育て中の親がイベント等に参加する際に、子どもを安心して預けることができる場所を提供することにより、女性の社会進出や次代を担う子育て世帯を支援するために開催しました。

【第1回】実施日：令和4年6月1日

内 容：講義「託児のポイント」

講師：前島保育園 園長 杉山 倫子 氏

【第2回】実施日：令和4年6月8日

内 容：講義：「子どもの心を知る」

講師：臨床発達心理士・保育士 岡村 由紀子 氏

【第3回】実施日：令和4年6月15日

内 容：講義：「乳幼児の病気と事故」

講師：健康推進課 鈴木 倫代 氏

内 容：講義：「障害のある子どもとの接し方」

講師：子ども発達支援センター 飯塚 麻里 氏

【第4回】実施日：令和4年6月22日

内 容：講義：「子どもの心と身体の健康」

講師：藤枝市立総合病院 副院長（小児科医） 久保田 晃 氏

【第5回】実施日：令和4年6月29日

講義：「絵本の楽しみ方を選び方」

講師：子どもと本をつなぐ会 おはなしたまご

会 場：生涯学習センター

修了者：15人

共 催：託児ボランティアサークル藤枝

イ. 音訳ボランティア養成講座

視覚障害の方に適切な情報を伝えることを目的として、音訳ボランティアに興味や、視覚障害者の福祉に関心のある住民を対象に音訳ボランティア養成講座を行いました。

【第1回】実施日：令和4年9月13日

【第2回】実施日：令和4年9月20日

【第3回】実施日：令和4年9月27日

【第4回】実施日：令和4年10月4日

【第5回】実施日：令和4年10月11日

会 場：青島北地区交流センター

内 容：音訳ボランティアの必要性、行政情報（広報、市議会だより、社協だより）の読み方、表、写真、グラフの表現の仕方、アクセント、発音、発声について演習を交えての講義

講 師：視覚障害の当事者 青島 義治 氏（第1回）

静岡県視覚障害者情報支援センター 所属 山田 眞弓 氏（第1回～第5回）

参加者：27人

ウ. 話し相手ボランティア養成講座

さまざまな理由で外出することが困難な人が話し相手を求めている場合に、希望者のご自宅や施設に訪問し、話し相手となるボランティアを養成するための講座を行いました。

【第1回】実施日：令和4年9月26日

内 容：講義「ボランティア（活動）とは？」「話し相手ボランティアとは？」

【第2回】実施日：令和4年10月3日

内 容：演習：「伝わる技術」、講義：「SOLER」

【第3回】実施日：令和4年10月17日

内 容：演習「伝える技術」 講義：「詩 聴くこと」

【第4回】実施日：令和4年10月24日

内 容：演習「効果的な質問と他者紹介」 講義：まとめ

第1回～第4回講師：元十文字学園女子大学 准教授 横山 貴美子 氏

【第5回】実施日：令和4年11月7日

内 容：講義「障害の理解と接し方～精神障害者について～」

講 師：特定非営利活動法人こころ 理事長 菅原 小夜子 氏

ピアスタッフ 広瀬 丈士 氏

【第6回】実施日：令和4年11月14日

内 容：講義「障害のある方への理解と接し方（知的障害者）」

講 師：社会福祉法人 和松会 相談役 板倉 幸夫 氏

会 場：Bivi キヤン・市民会館

参加者：第1回～4回 32人（修了者：31人）

第5回～6回 50人（第1～6期生公開講座）

⑤子育て応援プログラム

子育て中の保護者やその家族他、興味関心のある住民を対象に、子どもとの関わり方や家族とのコミュニケーションのとり方に悩みを抱える方に対し、その心理的支援を行い、よりよいコミュニケーション関係を作る方法を学習することを目的に行いました。

【第1回】実施日：令和4年9月16日

内 容：子どもの成長にたいせつなこと

講 師：静岡理工科大学学生カウンセラー 和久田 雅之 氏

【第2回・3回】

実施日：令和4年9月30日、令和4年10月7日

内 容：聞き上手、褒め上手（肯定）私（親）は子どものカウンセラー

子どもの自己表現力を育てる関わり方

講 師：全日本カウンセリング協会認定カウンセラー 笠島 信恵 氏

【第4回】実施日：令和4年10月23日（一般公開講座）

内 容：絵本を通じたコミュニケーション～子どもとの会話・自己との対話～

講 師：常葉大学短期大学部 日本語日本文学科 准教授 宮本 淳子 氏

会 場：藤枝市福祉センター・藤枝地区交流センター

参加者：（第1回～3回）延べ45人、（第4回）24人 計69人

⑥ボランティア交流会

コロナ禍において活動の場の減少している団体や個人、ボランティアに興味関心のある方などの交流、情報交換の場として藤枝市ボランティア連絡協議会と共に実施しました。

実施日：令和4年12月10日

会 場：藤枝地区交流センター

内 容：市内ボランティア団体による活動披露とボランティアについてのグループワーク

参加者：49人

（2）ボランティア団体の連携・交流

①ボランティア連絡協議会への支援

情報共有と連携強化を図るため、定例会および総会に出席しました（出席回数10回）。ボランティア交流会を共催しました。

②話し相手ボランティアサークル「えがお」への支援

活動の支援や情報提供・情報共有のため、定例会に出席しました（出席回数9回）。新型コロナウィルス感染症の感染拡大により活動が一時休止されましたが、ボランティアとしてできることに進んで取り組み、つながりが絶えないようにするための支援に努めました。

③高校生ボランティアサークル「ほおづき」への支援

「ほおづき」が企画・運営する事業を支援するため、定例会に出席し助言・調整を行いました（出席回数16回）。また、ボランティア連絡協議会の一員として、主体的にボランティア交流会の運営に携わることができるよう支援しました。

◆◆◆効果◆◆◆

ボランティア連絡協議会と共に「ボランティア交流会」を行い、ボランティア団体・個人の情報交換や、活動紹介をすることもできるとともに、団体と連携し各種講座を開催することで、新たな人を養成することができました。また、ほおづきの支援では、交流会において、はじめは障害のある子ども達とどのように関わってよいか迷っているように見えましたが、遊んでいる中で、声掛けの際に気を付けることや相手の目線に立ってゆっくり話すことを意識した様子が見られ、障害に対して自分達なりに理解しようとしているようでした。

（3）地区社協への支援【再掲】

（4）生活支援コーディネーターによる地域づくりの推進【再掲】

3 連携・協働による福祉のまちづくり

(1) 社会福祉法人のネットワーク強化

(2) 地域福祉活動にかかる財源の確保

①社協会費の加入促進

社協は、全戸会員制をとり住民の皆様に会員になっていただく普通会員と、賛助・施設・団体・特別会員に区分を分け、個人、施設、団体、企業等の対象ごとに会員の加入促進を図り、福祉活動資金の確保に努めました。

区分	人 員	口 数	金 額(円)	備 考(円)	
普通会員	43,564 戸	43,564 口	17,319,310 円	1 戸年額 400 円	
賛助会員(個人)	98 人	787 口	787,000 円	1 口	1,000 円
施設会員(施設)	39 施設	39 口	195,000 円	1 口	5,000 円
団体会員(団体)	16 団体	16 口	48,000 円	1 口	3,000 円
特別会員(企業等)	22 団体	28 口	84,000 円	1 口	3,000 円
計 * 口数と金額に一部差異があります			18,433,310 円	(前年度)18,287,600 円	

②善意銀行

社協が行う、地区社協・ボランティア活動の支援等、社会福祉事業の推進に対して寄せられた金品を公正に活用しました。

	ポップライフ指定寄附 (ポップライフ厚生文化基金)		その他の寄附金		物品	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	内 容
	11 件	880,000 円	56 件	748,733 円	314 件	ペットボトルキャップ換金 : 2,233 円 アルタブ換金 : 9,780 円 シルバーカー : 3 台 57,500 円 ギフトカード : 21,100 円 クオカード : 500 円 図書カード : 500 円 文房具 : 128,874 円 車椅子 : 40,000 円
前年度	12 件	925,000 円	67 件	790,171 円	323 件	

その他の福祉活動

各種福祉施設を管理運営し、住民にとって使いやすい施設となるようサービスの向上に努めています。

(1)老人福祉センター藤美園

高齢者福祉の拠点となる施設として、より地域に根付き、健康増進や教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に付与することを目的する施設で、多くの人に利用されました。

また、老人クラブ会員等援助に関する事業にも積極的に取り組みました。

開館 日数	団体利用		個人利用				講座		利用者	
	団体数	人数	市内	市外	その他	計	回数	参加者人数	合計	
4月	25	50	467	1,090	1	8	1,099	10	89	1,655
5月	23	43	421	904	2	11	917	10	115	1,453
6月	26	63	611	1,114	1	21	1,136	9	116	1,863
7月	26	60	570	1,100	0	24	1,124	9	108	1,802
8月	25	43	399	683	1	6	690	6	56	1,145
9月	24	66	622	888	2	23	913	9	103	1,638
10月	26	61	682	965	0	33	998	10	117	1,797
11月	24	64	649	1,009	2	16	1,027	8	90	1,766
12月	19	50	500	589	1	8	598	8	83	1,181
1月	23	58	630	1,010	2	10	1,022	9	100	1,752
2月	22	64	677	1,103	3	7	1,113	9	107	1,897
3月	26	69	797	1,250	1	15	1,266	9	107	2,170
総計	289日	691団体	7,025人	11,705人	16人	182人	11,903人	106回	1,191人	20,119人
月平均	24.1日	57.6団体	585.5人	975.4人	1.3人	15.2人	991.9人	8.8回	99.3人	1,676.6人

◇◆◇効果◇◆◇

建物が改修され、新規利用者も徐々に増えています。リニューアルオープンしたことをもっと多くの方にPRし、利用者増に繋げていきます。令和3年度は、建物改修により2か月間の開園のため比較データはありません。

(2)生きがい対応型デイサービスセンター「藤の里」・「きすみれの里」

介護保険に該当しない高齢者を対象に、通所により健康体操やレクリエーション活動等のサービスを提供することによって、高齢者の自立生活の助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上等を図ることを目的に開所しました。また、介護予防・日常生活支援総合事業を受託し、事業対象者の受け入れを行いました。なお、藤の里は市から指定管理を受けています。

【藤の里】(担当地区：瀬戸谷・稻葉・葉梨・広幡・西益津・藤枝・青島の一部)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
開所日	20	19	22	20	22	20	20	20	16	19	19	22	239 日	241 日
利用者数	314	297	352	309	312	315	303	300	240	276	266	318	3,602 人	2,566 人
総合事業	4	4	4	8	9	7	8	9	5	4	4	5	71 人	72 人
1日平均	15.9	15.8	16.2	15.9	14.6	16.1	15.6	15.5	15.3	14.7	14.2	14.7	15.4 人	10.9 人

【きすみれの里】(担当地区：葉梨・広幡・西益津・岡部)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
開所日	20	19	22	20	22	20	20	20	20	19	19	22	243 日	241 日
利用者数	199	183	215	187	178	177	181	173	182	164	180	190	2,209	2,530 人
総合事業	2	7	2	3	1	3	11	17	21	13	19	22	121 人	118 人
1日平均	10.1	10.0	9.9	9.5	8.1	9.0	9.6	9.5	10.2	9.3	10.5	9.6	9.6 人	11.0 人

◇◆◇効果◇◆◇

この施設を利用することで、多くの人と会話ができ、また利用者等と交流を図ることで、高齢者の生きがいづくりと介護予防につながっています。

(3) 藤枝市福祉センター「きすみれ」

市からの指定管理を受け、センターの貸館及び管理・運営と併せて住民の活動拠点となるよう施設の周知に向けた積極的なPRと自主事業の開催に努めました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
開館日	26	26	26	27	26	26	26	26	23	23	24	27	306 日	306 日
貸館利用者	520	502	680	605	642	659	707	710	635	732	644	889	7,925 人	6,113 人
健康運動室利用者	259	220	223	211	207	202	157	187	152	183	197	202	2,400 人	3,221 人
福祉団体室 ・ボランティア室	64	78	120	60	111	344	233	101	91	107	61	65	1,435 人	1,270 人
計	843	800	1,023	876	960	1,205	1,097	998	878	1,022	902	1,156	11,760 人	10,604 人

《自主事業》

講座名	実施日（回数）	参加延人数
楽らく！健康リンパ体操	4月6日～9月7日、10月5日～3月1日 12回	252 人
デトックス・ヨガ(午前・午後の部)	4月8日～9月30日、10月7日～3月24日 96回	919 人
きすみれ花壇の花植え事業	5月12日、11月8日 2回	4 人
きすみれわくわく広場「親子でリトミック！」	6月30日、令和5年3月23日 2回	32 人
きすみれわくわく広場「ベビーヨガ」	8月31日	18 人
アロマヨガ	10月22日、11月26日 2回	16 人
ふるさとみかん山収穫体験	12月11日	100 人
年度計	116回	1,341 人
前年度	98回	1,048 人

《センター防災訓練》

実施日：令和4年9月26日、令和5年2月13日

内 容：自衛消防隊の整列訓練、情報伝達訓練、館内安全措置訓練

◇◆◇効果◇◆◇

今年度もセンター事業において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、貸館業務、健康運動室の運営、自主事業の実施を行いました。自主事業では、子育て支援センターちびっこルームと連携し、未就園児の親子を対象とした「きすみれわくわく広場」を開催し、少人数制にするなどの徹底した感染予防対策により、安心と安全を考慮したセンター運営に努めました。

(4)放課後児童クラブ（市委託事業）

全29児童クラブで保護者が労働等により昼間家庭にいない1年生から6年生の児童を放課後等に預かり、遊びや生活の場を提供しました。また、新たに開設した「えだっこ児童クラブ、ゆたかっこ第1・第2児童クラブ」の運営や、藤枝市や静岡県主催の発達障害児等への知識と技術を習得する研修会等に参加しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年度
開所日	21	20	23	22	23	21	21	20	21	20	20	23	255日	255日
実利用者数	1,369	1,337	1,341	1,342	1,358	1,267	1,253	1,230	1,238	1,197	1,182	1,194	15,308人	14,385人

①指導員研修会

《発達障害研修会》

県主催 放課後児童支援員等資質向上研修（臨床心理士来所による実地研修）

なかよし児童クラブ、まつばっこ第3児童クラブ、ひがしちこ第1児童クラブの3クラブが、困難事例の対応を学びました。

②情報の共有化と各種マニュアルの整備

洪水等浸水想定区域内もしくは、土砂災害警戒区域内にある22児童クラブの避難確保計画を更新しました。また、各クラブに土砂災害・洪水ハザードマップを配備し防災意識の向上に努めました。

◇◆◇効果◇◆◇

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染予防を徹底し、児童が安心、安全に過ごせるように対応を行いました。令和5年度は、保育の質の向上を図り、研修会の開催していきます。また、指導員の確保に努め、安定したクラブ運営に努めています。

法人組織体制の強化

①理事会・評議員会

社協の運営体制は、各団体からの参画をいただき理事（定数14人）及び評議員（定数28人）で構成され、役員会の運営のもと各事業を執行しました。

ア. 理事会の開催状況

開催日	審議事項
6月13日 (第1回)	1. 令和3年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会事業報告の承認について 2. 令和3年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計決算の承認について 3. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算 (第1号)について 4. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 5. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和4年度第1回評議員選定委員会の 招集について 6. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和4年度第1回評議員会の招集について
6月30日 (第2回)	1. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会 会長の選定について 2. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会 副会長の選定について 3. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会 常務理事の選定について
9月29日 (第3回)	1. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算 (第2号)について 2. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和4年度第2回評議員会の招集 について
12月14日 (第4回)	1. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会就業規程の一部改正について 2. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算 (第3号)について 3. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 4. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会監事候補者の推薦について 5. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和4年度第2回評議員選定委員会の 招集について 6. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和4年度第3回評議員会の招集 について
3月17日 (第5回)	1. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 2. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算 (第4号)について 3. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会事業計画(案)について 4. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支予算(案) について 5. 藤枝市社会福祉協議会評議員選定委員の選任について 6. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会令和4年度第4回評議員会の招集 について 7. 遺贈による多額の寄附金の譲受けについて

イ. 評議員会の開催状況

開催日	審議事項
6月30日 (第1回)	1. 令和3年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会事業報告の承認について 2. 令和3年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計決算の承認について 3. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算 (第1号)について 4. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会理事の選任について 5. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会監事の選任について
10月20日 (第2回)	1. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(第2号) について
12月27日 (第3回)	1. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(第3号) について 2. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会理事の選任について 3. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会監事の選任について
3月27日 (第4回)	1. 令和4年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支補正予算(第4号) について 2. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会理事の選任について 3. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の一部改正について 4. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会事業計画(案)について 5. 令和5年度社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会会計資金収支予算(案)について

ウ. 評議員選定委員会の開催状況

開催日	審議事項
6月13日 (第1回)	1. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員の選任について
12月14日 (第2回)	1. 社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会評議員の選任について

エ. 三役会の開催状況

- 【第1回】令和4年 6月 9日 理事会の内容について
- 【第2回】令和4年 9月 15日 第2回理事会の内容について
- 【第3回】令和4年 12月 12日 第3回理事会の内容について
- 【第4回】令和5年 3月 15日 第4回理事会の内容について

②事業・会計監査

- 令和4年 6月 6日 令和3年度社協事業及び会計決算監査
- 令和4年 11月 30日 令和4年度社協上半期事業及び会計監査

③法人改善計画

杉山明喜雄税理士・公認会計士事務所と顧問契約を結び、法人運営における会計の見直しを行い、法人の健全な経営に向けた取り組みを継続して行っています。

④福祉サービス苦情解決事業

広く皆様からのご意見を伺うため、社協で運営している各施設に意見箱を設置して苦情等の受け付けをしました。

苦情件数	苦情受付	苦情内容	結果
10	電話 ・ 窓口	<ul style="list-style-type: none">・訪問介護サービス負担割合告知誤りについて・休日等における移動支援キャンセルの連絡について・訪問介護時の服薬管理について・訪問時のヘルパー職員の対応について・新型コロナ感染対策に伴う放課後児童クラブの休会、退会、利用料について・新型コロナ感染対策による閉所等の連絡について・新型コロナ感染対策によるおやつの持ち帰りについて・放課後児童クラブの土曜保育における放課後児童クラブ指導員の関わりについて・放課後児童クラブ指導員の保護者対応について・放課後児童クラブの新型コロナ感染対策について	解決

⑤職員研修会

職務意識向上と専門知識を深めるため、外部研修への参加や内部研修を実施しました。

外部研修	市町社会福祉協議会新任職員研修会、市町社協災害ボランティア担当者人材育成研修、地域福祉コーディネーターリーダー研修会、成年後見制度市町長申立てに係る実務研修、成年後見制度意思決定支援にかかる実務研修、地域包括支援センター等職員研修、スーパービジョン実践講座、在宅ターミナル研修、同行援護従事者養成研修、藤枝市発達障害者療育支援研修会、放課後児童支援員認定資格研修 等
------	---

⑥組織体制の強化

内部研修	職員研修、在宅福祉センター衛生委員会、感染症対策研修会 等
------	-------------------------------

※その他、各他団体等が主催する委員会の委員として会議・研修会の参加

⑦地域福祉活動計画推進懇話会

行政の地域福祉計画とともに、第5次地域福祉活動計画の進捗管理のために地域福祉活動計画推進懇話会を開催しました。

【第1回】開催日：令和4年6月29日

内 容：講話「地域福祉計画とは・懇話会の役割について」

講師：藤枝市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進懇話会

会長 山本 伸晴 氏

議事：①第4次地域福祉計画及び地域福祉活動計画の事業報告について

②第5次地域福祉計画及び地域福祉活動計画の事業計画について

③地区社協の行動目標・行動方針について

④成年後見制度利用促進基本計画について

【第2回】開催日：令和5年1月27日

内 容：①議事「防災」

②成年後見制度利用促進部会報告

社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会

令和4年度 事業報告書 いきいき藤枝ささえあいプラン ～ステージ1～ 附属明細書

該当する事項はありません

社会福祉法人 藤枝市社会福祉協議会
会長 水野 明